

経済的困難を抱える 子どもの学び支援活動助成

複雑化する子どもの課題に対して、
中長期視点で取り組む団体を応援します。

最大
3年間
900万円

地域によって多様な子どもの課題に対し、支援を持続可能なものにしていくためには、担い手団体の事業基盤の強化や新たな事業へのチャレンジなど、中長期的な視点が必要と考えています。
最大3か年の支援を通して、中長期の視点を持った自立的な事業継続・発展を目指す団体を応援します。

活動テーマ例

- 訪問型学習支援に特化した人材育成カリキュラムを作成・実行し効果検証したい！
- 学校、行政、企業と連携し、学習支援の価値向上を目指した地域支援システムを構築したい！
- 実践と検証をもとに、非認知能力を高めるためのプログラムを開発したい！

3か年の活動イメージ



高校生を対象にした訪問型学習支援は長年取り組んできたけど、最近この地域の小学生や中学生の不登校も増えているみたい。今後は高校生以外にも支援を広げていきたいな。まずは地域の実態やニーズ調査をしよう。高校生とはアプローチのしかたなども違ってくるはずだから、最適な支援の在り方や継続的な事業運営も考えなければ。

1年目

〈小・中学生を対象に訪問型
学習支援のトライアル実施〉

地域の実態やニーズ調査を実施。すでにつながりのある数名の児童を対象にトライアルを実施し、リスクの洗い出しや対応策を検討しマニュアルを作成したい。

2年目

〈1年目の成果と課題を踏まえ、
より有効な仕組みを検討・実践〉

本格的な運用をスタート。ボランティア育成強化のため、有識者と研修内容を議論し内容を確立。利用者を増やすために広報の仕組みを整えたり、関連機関との仕組みづくりもしていきたい。

3年目

〈学習支援活動を継続する
ための施策〉

2年間の実績を発信することで、ファンドレイズサポートや企業協賛の増加をはかり、安定した事業運営が可能な基盤をつくりたい。

募集期間

2019年11月26日(火)～2020年1月7日(火)* 必着

詳細は
裏面へ

2019年度 経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成

内 容	日本全国の地域において、経済的な困難により学びに課題を抱える子どもたちを、その支援活動に取り組む団体への助成を通して支援します。 経済的な困難により学びに課題を抱える子どもたちの意欲を高め、学びに取り組む手助けとなる事業において、<u>中長期視点で自立的な事業継続・発展を目指す取り組み</u>を支援します。 「A：現在の事業の自立的な継続・発展のための取り組み」もしくは「B：新たな事業の立ち上げ」のいずれかで最大3年間の助成を実施します。 ※2年目以降は、前年度の事業の進捗状況や成果及び当年度計画の審査を行い、継続の可否を判断します。 A：既存事業強化（現在の事業の自立的な継続・発展のための取り組み）→既存事業強化のためのテーマを明確にし計画を立案していただきます。※複数テーマについての取り組み可 <table border="1" data-bbox="335 566 1484 1048"> <thead> <tr> <th>テーマ</th><th>取り組み（例）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①子どもの学びの質の向上</td><td>・学習意欲や学習効果を高めるための、支援者の関わりや働きかけについての研究 ・非認知能力を高めるためのプログラム開発</td></tr> <tr> <td>②担い手の人材育成</td><td>・子ども支援の現場人材の育成プログラム開発 ・安定的なボランティア確保のためのしくみづくり</td></tr> <tr> <td>③広報及び支援者獲得や ファンドレイジングの強化</td><td>・事業認知を高め支援者獲得につながる広報のしくみづくり ・効果的な事業資金調達のしくみづくり</td></tr> <tr> <td>④業務の改善や生産性向上</td><td>・事業の効率的な運営のための業務改善</td></tr> <tr> <td>⑤異なる地域や分野との 連携やネットワークづくり</td><td>・多地域間でのネットワークづくり ・異分野交流の枠組みと機会づくり</td></tr> </tbody> </table> B：新規事業（現在の事業では対応できない子どもの課題に取り組むための新たな事業の立ち上げ） ※既存事業と同様事業のエリア・拠点の拡大は対象外です。そのための人材育成や基盤強化については「A：既存事業強化」の対象となります。	テーマ	取り組み（例）	①子どもの学びの質の向上	・学習意欲や学習効果を高めるための、支援者の関わりや働きかけについての研究 ・非認知能力を高めるためのプログラム開発	②担い手の人材育成	・子ども支援の現場人材の育成プログラム開発 ・安定的なボランティア確保のためのしくみづくり	③広報及び支援者獲得や ファンドレイジングの強化	・事業認知を高め支援者獲得につながる広報のしくみづくり ・効果的な事業資金調達のしくみづくり	④業務の改善や生産性向上	・事業の効率的な運営のための業務改善	⑤異なる地域や分野との 連携やネットワークづくり	・多地域間でのネットワークづくり ・異分野交流の枠組みと機会づくり
テーマ	取り組み（例）												
①子どもの学びの質の向上	・学習意欲や学習効果を高めるための、支援者の関わりや働きかけについての研究 ・非認知能力を高めるためのプログラム開発												
②担い手の人材育成	・子ども支援の現場人材の育成プログラム開発 ・安定的なボランティア確保のためのしくみづくり												
③広報及び支援者獲得や ファンドレイジングの強化	・事業認知を高め支援者獲得につながる広報のしくみづくり ・効果的な事業資金調達のしくみづくり												
④業務の改善や生産性向上	・事業の効率的な運営のための業務改善												
⑤異なる地域や分野との 連携やネットワークづくり	・多地域間でのネットワークづくり ・異分野交流の枠組みと機会づくり												
助成対象団体	●上記助成テーマで活動を行っている非営利団体 （特定非営利活動法人（NPO）、財団法人、社団法人、社会福祉法人など） ●「助成決定後の義務・条件」に同意いただける団体 ※法人格が無くても申請可能ですが、個人名義の口座への助成金の振り込みはできません。 ※原則として営利団体への助成は行いません。												
対象活動期間	2020年4月1日から2023年3月31日まで（最大3年間）												
助成金額	1件あたり、最大3か年で総額900万円以内 ※助成金額は、年度ごとに、申請された事業計画・予算を審査の上決定します。 ※収入見込みに自治体の補助金や他の公共法人等の助成金が含まれていても応募できます。												
応募方法	当財団ホームページ(https://benesse-kodomokikin.or.jp)のフォーマットに、必要事項を記載のうえ、以下の方法でお送りください。 ・メールの場合：kodomokikin@grop.co.jp ・郵送の場合：〒277-0831 千葉県柏市根戸 206-3 北柏ビル 2F (株)グロップ内 ベネッセこども基金助成事務局												
問い合わせ先	TEL：04-7137-2570 ※月～金 10:00～17:00 ※祝日、2019年12月28日～2020年1月5日を除く ※通話中などによりつながりにくい場合がございます。あらかじめご了承ください。												

ベネッセこども基金は、「未来ある子どもたちが安心して自らの可能性を広げられる社会」の実現を目的として、2014年10月31日にベネッセグループによって「一般財団法人ベネッセこども基金」として設立、2015年4月1日に公益財団法人に移行しました。当財団は、子どもたちが自ら学ぼう、伸びようとする力を十分に発揮できるよう、子どもたちを取り巻く社会的な課題の解決及び多様な学びの機会の提供に取り組めます。



公益財団法人
ベネッセこども基金

所在地：〒206-8686 東京都多摩市落合 1-34
<https://benesse-kodomokikin.or.jp>